

インプラントマイクロサージェリー；手術用顕微鏡を用いたインプラント治療を前提とした上顎洞への取り組み

千 栄寿

われわれはインプラントに関連する外科処置の限界点を変えるためにマイクロサージェリーを様々な局面において実践してきている。マイクロサージェリーは従来の手術理論の延長線上にあり、手術理論そのものを変えることではない。ただ単に確実な治療のためにマイクロスコープを用いて行われる手術アプローチである。拡大は損傷のない軟組織と硬組織の取り扱いのために使用され、創傷治療を高いレベルで促進する。本講演においてはトピックスを絞ってサイナスフロアーエレベーションにおけるマイクロサージェリーの優位性をラテラルアプローチ、クレスタルアプローチ、サイナスメンブレンのパーフォレーションへの対処、硬性鏡と併用した上顎洞内のポリープ除去等の手術動画を供覧しながら解説をする。そして、上顎洞増生術の術前診査ガイドライン、CT画像による経過観察、上顎洞の解剖学的観点からの増生術の原理も踏まえて私見と考察を加える。

1991年 神奈川歯科大学歯学部卒業

1994年 横須賀市開業 せん歯科医院 Implant&Esthetic Microscopedentistry

CID-club (Center of Implant Dentistry)

Tokyo SJCD (Society of Japan Clinical Dentistry)

ITI (International Team for Implantology)

AMED (Academy of Microscope Enhanced Dentistry)

JAMI (日本顎顔面インプラント学会)

JSOI (日本口腔インプラント学会)

JAMD (日本顕微鏡歯科学会)